



東京都美術館 東京2020公式アートポスター展 開催のお知らせ 2021年7月20日(火)～9月5日(日)

東京都及び公益財団法人東京都歴史文化財団は、公益財団法人東京オリンピック・パラリンピック競技大会組織委員会と共同で、下記のとおり「東京2020公式アートポスター展」を開催いたします。

本展では、19組のアーティストが制作した東京2020大会公式アートポスター及び東京2020オリンピック、東京2020パラリンピック両大会を象徴するアイコンックポスターを展示することにより、大会期間中の都市東京に彩りを添えます。ぜひ、ご高覧ください。

詳細は、別紙『「東京2020公式アートポスター展」開催のご案内』をご参照ください。

記

1 開催概要

(1) 展覧会名

東京2020公式アートポスター展

(2) 会期

令和3(2021)年7月20日(火)から9月5日(日)まで ※休館日 8月16日(月)

(3) 会場

東京都美術館 1階 「佐藤慶太郎記念 アートラウンジ」

東京都台東区上野公園8-36

JR上野駅公園口より徒歩7分、東京メトロ銀座線・日比谷線上野駅7番出口より徒歩10分

京成電鉄京成上野駅より徒歩10分

2 主催

東京都

公益財団法人東京都歴史文化財団 東京都美術館

公益財団法人 東京オリンピック・パラリンピック競技大会組織委員会

※新型コロナウイルス感染症の状況により、実施内容等に変更が生じる場合があります。

「Tokyo Tokyo FESTIVAL」とは

オリンピック・パラリンピックが開催される東京を文化の面から盛り上げるため、多彩な文化プログラムを展開し、芸術文化都市東京の魅力を伝える取組です。



Tokyo Tokyo FESTIVAL
公式ウェブサイト

本件は、「ホストシティTokyoプロジェクト」に係る事業です。
「カテゴリー：魅力発信 プロジェクト名：東京文化プログラムの拡充・推進」

【問合せ先】

<展示に関すること>

公益財団法人東京都歴史文化財団 東京都美術館 電話：03-3823-6921

<その他に関すること>

生活文化局文化振興部企画調整課 電話：03-5388-3158



別紙

【PRESS RELEASE】

2021年6月30日(水)

公益財団法人東京オリンピック・パラリンピック競技大会組織委員会
東京都
公益財団法人東京都歴史文化財団

「東京 2020 公式アートポスター展」開催のご案内

- 会期：2021年7月20日(火)～9月5日(日)
- 会場：東京都美術館 1階「佐藤慶太郎記念 アートラウンジ」

東京 2020 組織委員会、東京都、公益財団法人東京都歴史文化財団は、「東京 2020 公式アートポスター展」を2021年7月20日(火)～9月5日(日)、東京都美術館 1階「佐藤慶太郎記念 アートラウンジ」にて開催いたします。

本展では、国内外のアーティスト19組により制作された、東京 2020 公式アートポスター計20作品に加え、6月22日に発表した、東京 2020 オリンピック、東京 2020 パラリンピック両大会を象徴する「アイコンックポスター」も同時に展示いたします。

【概要】

- 展覧会名 東京 2020 公式アートポスター展
- 出品作品
 - ・東京 2020 公式アートポスター全20作品
(オリンピックをテーマとする12作品、パラリンピックをテーマとする8作品)
 - ・東京 2020 アイコンックポスター全2作品
- 会 期 2021年7月20日(火)～9月5日(日) (47日間 ※休館日除く)
- 会 場 東京都美術館 1階「佐藤慶太郎記念 アートラウンジ」
(東京都台東区上野公園 8-36)
- 開館時間 9:30～17:30
- 休 館 日 8月16日(月)
- 観 覧 料 無料
- 主 催 公益財団法人東京オリンピック・パラリンピック競技大会組織委員会、
東京都、公益財団法人東京都歴史文化財団 東京都美術館
- お問合せ TEL: 050-5541-8600 (ハローダイヤル、年中無休 9:00～20:00)
- ウェブサイト <https://tokyo2020.org/jp/games/artposter/>
(東京 2020 組織委員会公式ウェブサイト内)



※新型コロナウイルス感染症の状況、その他の事情により、実施内容等に変更が生じる場合があります。

予めご了承ください。



【アーティスト】（国内アーティストは 50 音順、海外アーティストはアルファベット順、敬称略）

■ オリンピックをテーマとする作品の制作者（12 人）

国内			
1	浦沢 直樹	ウラサワ ナオキ	漫画家
2	大竹 伸朗	オオタケ シンロウ	画家
3	大原 大次郎	オオハラ ダイジロウ	グラフィックデザイナー
4	金澤 翔子	カナザワ ショウコ	書家
5	鴻池 朋子	コウノイケ トモコ	アーティスト
6	佐藤 卓	サトウ タク	グラフィックデザイナー
7	野老 朝雄	トコロ アサオ	美術家
8	ホンマ タカシ		写真家
海外			
9	Theseus Chan	テセウス・チャン	アートディレクター
10	Chris Ofili	クリス・オフイリ	アーティスト
11	Viviane Sassen	ヴィヴィアン・サッセン	写真家
12	Philippe Weisbecker	フィリップ・ワイズベッカー	アーティスト

■ パラリンピックをテーマとする作品の制作者（8 人／組）

国内			
1	荒木 飛呂彦	アラキ ヒロヒコ	漫画家
2	柿沼 康二	カキヌマ コウジ	書家
3	GOO CHOKI PAR	グーチョキパー	グラフィックデザイナー
4	新木 友行	シンキ トモユキ	アーティスト
5	野老 朝雄	トコロ アサオ	美術家
6	蛭川 実花	ニナガワ ミカ	写真家・映画監督
7	森 千裕	モリ チヒロ	美術家
8	山口 晃	ヤマグチ アキラ	画家

【参考情報】

■ 東京 2020 公式アートポスターについて

公式アートポスターの制作は開催都市契約[※]に定められた要件の一つとされています。20 世紀初頭から、各大会の組織委員会は、オリンピックというスポーツ・文化イベントへの認知と理解を促進するために、ポスターを制作してきました。また、オリンピックのポスターは、各大会の特色を世界に伝える役割も果たしています。

近年では、パラリンピックのポスターも含め、国際的に活躍するアーティストやデザイナーを起用し、各大会の文化的・芸術的レガシーとなる作品を制作するようになりました。その中からは、時代のアイコンとなるような作品も生まれています。

東京 2020 大会では、国内外のアーティストにオリンピックまたはパラリンピックをテーマにした芸術作品を制作いただき、それらを東京 2020 公式アートポスターとして機運醸成に活用しています。

※ 開催都市契約：開催都市に決定後（2013 年 9 月 7 日）、国際オリンピック委員会（IOC）と東京都、日本オリンピック委員会（JOC）が締結した大会の準備・運営に関する契約書のこと。

■ アイコニックポスターについて

各オリンピック大会を象徴するポスターとして、IOC 会長が 1 点を選定し、ローザンヌにあるオリンピック博物館に收藏されます。国際パラリンピック委員会（IPC）は、過去パラリンピック大会ではアイコニックポスターを選定していませんでしたが、東京 2020 大会で初めて選定することとしました。

- ◇ 東京 2020 オリンピック アイコニックポスター（左）
制作アーティスト：
野老 朝雄 / 美術家
- ◇ 東京 2020 パラリンピック アイコニックポスター（右）
制作アーティスト：
GOO CHOKI PAR / グラフィックデザイナー

